

道本部労災職業病部会 北海道労働局に要求書提出

予防・認定・「適正給付管理」・社会復帰・労働行政の体制強化など

道本部労災職業病部会は2月28日に北海道労働局長あてに「労災職業病にかかわる要求書」を提出しました。要求書では、振動障害の防止対策、じん肺・アスベストの予防対策、労災職業病の認定業務、じん肺の管理区分申請と石綿健康管理手帳及びじん肺の療養、振動障害の「適正給付管理」、振動障害被災者の訓練・社会復帰対策、労働行政の体制強化と「組織・行政改革」についての要求をまとめています。交渉は5月になる予定です。

札幌ダンプ支部に新加入1人

札幌ダンプ支部で3月に組合員1人が増えました。いっしょに仕事をしている組合員から労災保険の特別加入のことを聞いて建交労に加入しました。

苫小牧の「建退共・職業病相談会」に5人 アスベスト・じん肺で2人が受診予定

各地の「相談会」が新型コロナウイルスのため中止・延期に

道本部労災職業病部会は3月7日に苫小牧で「建退共・職業病相談会」をおこないました。午前中の相談会では、建退共・1人、アスベスト・1人、じん肺・1人、その他・2人の相談がありました。このうちアスベストとじん肺の相談者2人は病院を受診する予定です。この日は午後にも相談会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で会場を使用できなくなったため中止となりました。また、翌日の8日に予定していた千歳での「健康（職業病）相談会」も会場の都合で中止しました。

なお、旭川支部が3月8日におこなった旭川の「相談会」には、道庁による「外出自粛」要請の影響もあって、事前の「建退共」の相談1件以外に参加者はいませんでした。

釧路支部は3月29日に北見での「相談会」を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染が拡大していることから延期することにしました。3月28日の美幌での「相談会」は実施する予定です。

新型コロナウイルスの影響で行動・集会が中止に

新型コロナウイルス感染拡大により、3月5日の中央行動、3月8日の「さようなら原発集会」と国際女性デー集会などが中止となり、札幌地裁での3月11日の北海道建設アスベスト訴訟の口頭弁論や3月13日のトンネルじん肺根絶第6陣訴訟口頭弁論が延期・中止となるなど大きな影響が出ています。